様式第1号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

都留市長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者住所

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　 　印

 　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日生（　　　歳）

事業計画承認申請書

　都留市親元就農者経営安定支援事業費補助金交付要綱第6条第1項の規定に基づき、次の事業計画の承認を申請します。

　なお、同補助金交付要綱第12条の規定に基づき本計画の内容を含め、本事業に係る交付対象者の情報は関係機関において共有されることに同意します。

|  |
| --- |
| 経　営　発　展　計　画 |
| 就 農 地 |   | 親元就農開始日 |  　年　 月　 日 |
| 営農類型 |  |
| 目標達成に必要な取組や自身の役割 |  |
| 経営継承の時期の目安 | 年　　月　　日 |
|  親元就農に係る経営全体の所得目標 | 現状 | 目標 |
|  　円　 |  　 円　 |
| 農業経営の規模に関する目標農業経営の規模に関する目標 | 作目・部門名 | 現状 | 目標（　　年） |
| 作付面積飼養頭数 | 生産量 | 作付面積飼養頭数 | 生産量 |
|  |  |  | 　 |  |
|  経営面積合計 |  |  |  |  |
| 区分 | 地目 |  所在地(市町村名) | 現状 | 目標（　　年） |  |
|
| 所有地 |  |  |  |  |  |
|
| 借入地 |  |  |  |  |  |
|
| 特定作業受託 | 作目 | 作業 | 現状 | 目標（　　年） |
| 作業受託面積 | 生産量 | 作業受託面積 | 生産量 |
|  |  |   |  |   |  |
| 作業受託 | 作目 | 作業 | 現状 | 目標（　　年） |
|  |  |   |   |
| 単純計 |  |  |
| 換算後 |  |  |
| 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業 |  事業名 | 内容 | 現状 | 目標（　　年） |
|  |  |  |  |
| 生産方式に関する目標 |  機械・施設名 | 型式、性能、規模等及びその台数 |
|  現状 |  目標（　　年） |
|  |  |  |
| 経営管理に関する目標 |  |
| 農業従事の状況等に関する目標 |  |
| 目標を達成するために必要な措置 | 　 事業内容（施設の設置・ 機械の購入等） | 　　 規模・構造等 |  実施時期 |  事業費 |  資金名等 |
|  |  |  年　　月 |  千円 |  |
| 農業経営の構成 | 氏　　名 | 年齢 | 代表者との続柄 | 現状 | 目標年 |
| 担当業務 | 年間農業従事日数・時間（日・時間） | 担当業務 | 年間農業従事日数・時間（日・時間） |
|  |  | （代表者） |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （参考）技術・知識の習得状況 |  研修先等の名称 |  所在地 |  　専攻・営農部門 |
|  |  |  |
|  　研修等期間 |  　年　　　月　～　　　年　　　月 |
| 研修内容等 |  |
|  活用した 補助金名 及び交付 期間 |  |

注　「（参考）技術・知識の習得状況」欄には、次の事項に関して過去に研修を実施した場合に、研修内容を記載する。また、その場合、研修カリキュラム等を添付すること。

　ア　農業高校、農業者研修教育施設（道府県農業大学校）、民間研修教育施設、先進農家等における教育・研修を記載する。

　イ　先進農家等における研修については、「研修先等の名称」欄に、研修先の農業法人等名を記載する。

　ウ　上記以外に実践的な技術・知識を習得している場合は、「研修内容等」の欄にその内容を記載する（他の欄は記載不要）。

（添付書類）

１　家族経営協定書の写し（申請者の役割や専従者給与の受給等が明確に記されていること）

２　農業経営改善計画認定書

３　人・農地プランに中心的経営体として位置づけられていることを証する書類

注）変更承認申請の場合の添付書類については、当該申請に伴い変更が生じたもの以外は省略できる。

※都留市親元就農者経営安定支援事業費補助金交付要綱第4条第6号の「就農日」について、青色事業専従者となった日（青色申告申請日）で確認した場合は、青色専従者給与に関する届出書を添付すること。

（備考）

１　営農類型は別記の中から選択すること。

２　就農時の就農地等

 ア 「就農地」欄には、就農地の市町村名を記載する。

　イ 「親元就農開始日」欄には、親元就農を開始した年月日を記入する。なお当事業　　においては、「家族経営協定締結日」又は「青色事業専従者となった日」のいずれか早い日を「親元就農開始日」とするため、家族経営協定書の写し又は青色専従者給与に関する届出書を添付するものとする。

３　「農業経営の規模に関する目標」欄には、次の事項を記載する。

　ア　「特定作業受託」欄に、作目別に、主な基幹作業（水稲にあっては、耕起・代かき、田植え、収穫・脱穀、麦及び大豆にあっては耕起・整地、播種、収穫、その他の作目にあってはこれらに準ずる農作業をいう。以下同じ。）を受託する農地（（1）申請者が当該農地に係る収穫物についての販売委託を引き受けることにより販売名義を有し、かつ、（2）当該販売委託を引き受けた農産物に係る販売収入の処分権を有するものに限る。）の作業受託面積及び生産量を記載する。

　　　この場合、「経営面積合計」欄には、「作付面積・飼養頭数」欄の面積だけでなく、「特定作業受託」の「作業受託面積」欄の面積を加えて記載する。

　イ　この場合、申請者が、当該農地について、主な基幹作業を受託し、かつ、アの（1）及び（2）の要件を満たすことを証する書面を添付するものとする。

　ウ 「作業受託」欄に、「特定作業受託」欄に記載した作業受託以外の作業受託について、作目別、基幹作業別に、作業受託面積を記載するとともに、「換算後」欄に「作業受託面積÷作業数」により換算した面積を記載する。

　エ 「農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業」欄には、農業経営に関連・附帯する事業として、（1）農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工、（2）農畜産物の貯蔵、運搬又は販売、（3）農業生産に必要な資材の製造等について記載する。

４　「生産方式に関する目標」欄には、機械・施設の型式、性能、規模ごとに台数を記載するとともに、リース、レンタル、共同利用等による場合は、その旨を記載する。

５　「経営管理に関する目標」欄には、簿記記帳、経営内役割分担等の経営管理に関する目標を記載する。

６　「農業従事の状況等に関する目標」欄には、休日制の導入、ヘルパー制度活用による労働負担の軽減等について記載する。

７　「目標を達成するために必要な措置」欄には、「農業経営の規模に関する目標」、「生産方式に関する目標」、「経営管理に関する目標」及び「農業従事の態様等に関する目標」に掲げた目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入、その他のリース農場の利用、農用地の購入・賃借等の措置を行うのに必要な資金を記載する。

８ 「農業経営の構成」欄には、農業経営に携わる者の担当業務及び年間農業従事日数等について、その現状及び現在想定し得る範囲での見通しを記載するものとする。

　ア 「氏名」欄に、代表者以外の者にあっては、農業経営に携わる者の氏名を記載する。

　イ 「代表者との続柄」欄に、代表者にあってはその旨を記載し、代表者を基準とした続柄を記載する。

　ウ 年間農業従事日数は、1日8時間として計算し、毎日1時間ずつ働いた場合には、8日で1日と換算する。

別記

（備考の１の営農類型は、以下の営農類型から選択すること。）

１　単一経営（農産物販売金額１位の部門の販売金額が、農産物総販売金額の80％以上を占める場合）の営農類型（例：露地野菜）

水稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物、露地野菜、施設野菜、露地果樹、施設果樹、露地花き・花木、施設花き・花木、乳用牛、肉用牛、養豚、養鶏

２　複合経営（農産物販売金額１位の部門が水稲であって、水稲の販売金額が、農産物総販売金額の80％に満たない場合）の営農類型（例（２位の部門が麦類の場合）：水稲＋麦類）

水稲＋（麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物、露地野菜、施設野菜、露地果樹、施設果樹、露地花き・花木、施設花き・花木、乳用牛、肉用牛、養豚、養鶏）

３　１及び２に該当しない場合は、その他（○○）として記載する。（例１：その他（きのこ菌床栽培）、例２（農産物販売金額１位の部門が施設野菜、２位の部門が麦類の場合）：その他（施設野菜＋麦類））